

2026年8月期 通期決算説明資料

日創グループ株式会社(証券コード:3440)

2026年10月15日

2026年8月期通期決算のハイライトを動画にて配信しております。ぜひ併せてご覧ください。

◆動画はこちら <https://youtu.be/lvXnd3QXB9s>



会社情報

■ 社 名	日創グループ株式会社 (英文表記: NISSO GROUP Co., Ltd.)
■ 代 表 者	代表取締役社長 石田 徹
■ 本 社	福岡県福岡市南区向野2-10-25
■ 設 立	1983年9月
■ 資 本 金	1,190百万円
■ セ グ メ ン ト	金属加工事業、化成品事業、建設事業、ライフスタイル事業

グループ経営理念

日々創造

昨日より今日、今日より明日
そして未来を共に創る

グループビジョン

「創る」力で未来に挑む 企業グループ

価値の創造と挑戦



NISSO GROUP

(2026年8月期末現在)

日創プロニティ株式会社
吾孺ゴム工業株式会社
日創エンジニアリング株式会社
綾目精機株式会社
株式会社ワタナベテクノス
ニッタイ工業株式会社
株式会社天神製作所
カナエテ株式会社
株式会社マルトク

大鳳株式会社
フォームテックス株式会社
株式会社泉製作所
株式会社B SLASH HOLDINGS
株式会社ベルフラッツ
株式会社ビーズネクサス
株式会社ビーズコンセプト
東北クリーンエネルギー02合同会社 他34社

シキファニチア株式会社(非連結子会社)
株式会社穴井工務店(非連結子会社)
日創不動産株式会社(非連結子会社)
株式会社新華日通(非連結子会社)
NISSO DESIGN STUDIO CO., LTD(非連結子会社)
一般社団法人Natural Capital(関連会社)
GXエナジーソリューション合同会社(関連会社)

52社：当社1社、連結子会社16社、連結子会社(発電事業)35社

金属加工事業

建設、エネルギー、機械設備分野等における各種金属製品の企画・設計・加工・製造・販売



日創プロニティ



綾目精機



ワタナベテクノス

ワタナベテクノス



株式会社 天神製作所
Tenjin Manufacturing Co., Ltd.

天神製作所

化成品事業

住宅、機械、インフラ分野、輸送機械等における各種ゴム・ウレタン製品・樹脂成型製品の企画・設計・加工・製造・販売



吾孺ゴム工業



大鳳・フォームテックス



品質と実績で、いつもプラスを
泉製作所

建設事業

内外装パネル工事、太陽光発電設備工事等を中心とした建設工事



日創エンジニアリング

ライフスタイル事業

タイル製造・販売、木材加工・卸売、住宅設備機器の企画・EC販売、ものづくりWEBサービス、システム受託開発及び分譲マンションの企画・開発・販売、リノベーション事業



ニッタイ工業



マルトク



アイデアをカタチに。
カナエテ



B SLASH
HOLDINGS



Bellflotz

ベルフラッツ



BZ NEXUS

ビーズネクサス



BZ CONCEPTION

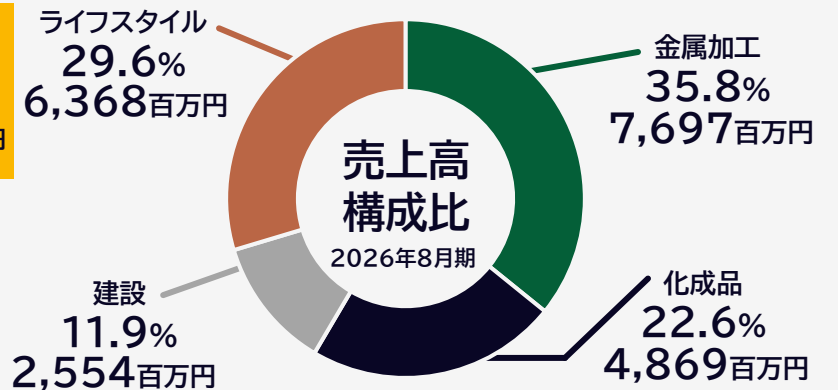
ビーズコンセプト

その他

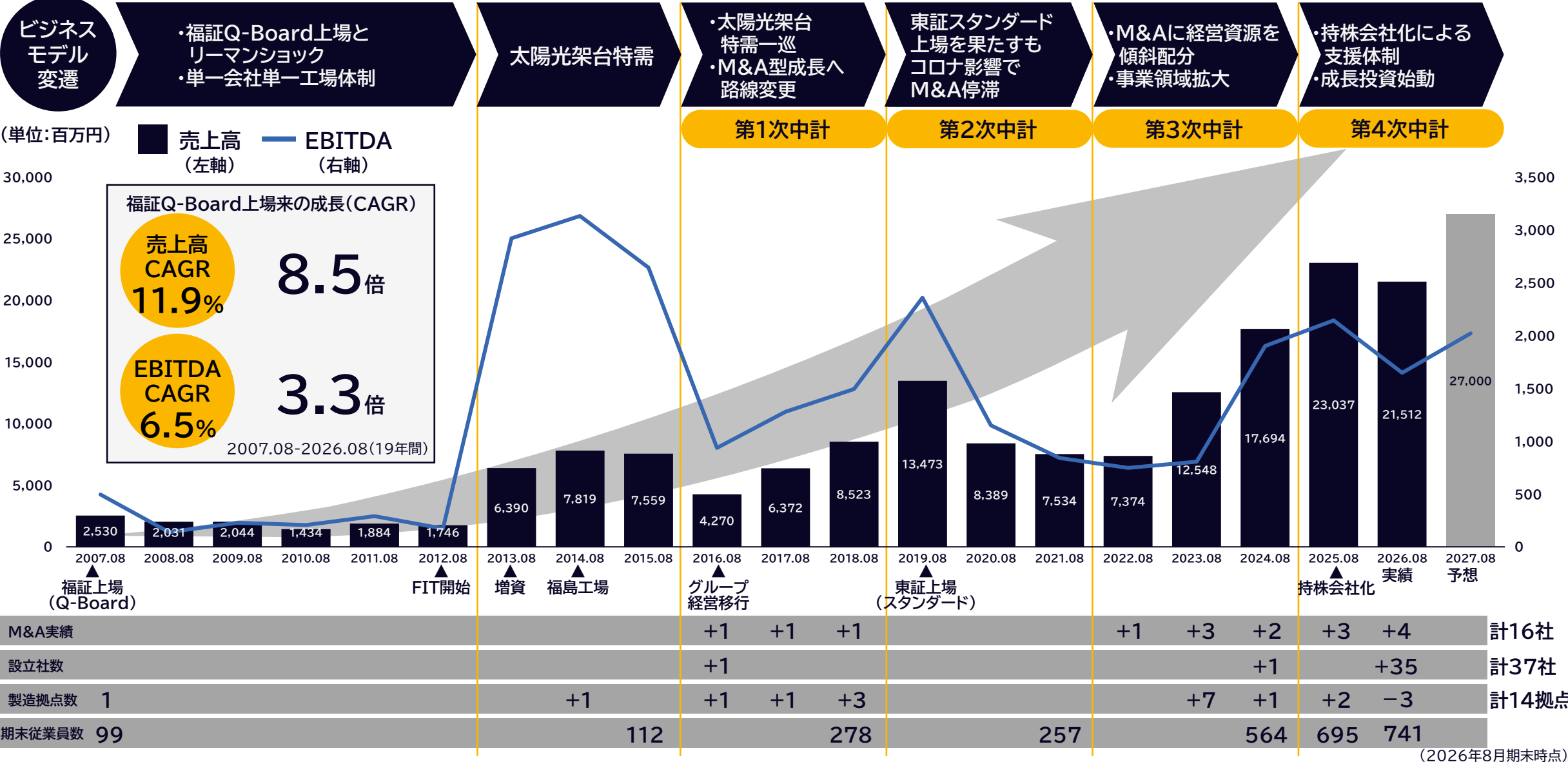
太陽光発電事業

東北クリーンエネルギー02合同会社 他34社

2026年8月期
連結売上高
21,512百万円



当社ビジネスモデルの変遷と売上高・EBITDAの推移



業績

売上高

21,512百万円

前年同期比▲6.6%

営業利益

620百万円
営業利益率2.9%

前年同期比▲55.1%

EBITDA

1,648百万円
EBITDA率7.7%

前年同期比▲23.1%

※EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額

背景

- ・ 金属加工事業では、データセンター関連案件が好調に推移。
一方で太陽電池アレイ支持架台及び金属サンドイッチパネルの案件減少。
- ・ 化成品事業では、前連結会計年度に子会社化した大鳳、泉製作所の業績が期首から寄与。
- ・ 建設事業では、大型案件が集中し工事が大幅に進展した前期の反動。
- ・ ライフスタイル事業では、当連結会計年度に子会社化したベルフラッツ及びビーズネクサスの業績が寄与。

- ・ 金属加工事業では、主に減収による減益。
- ・ 建設事業では、主に減収による減益。
- ・ ライフスタイル事業では、カナエテにおいて新規事業立ち上げに伴う先行投資を継続したことや、ベルフラッツにおいて、来期以降の竣工物件に対する広告宣伝費を先行して計上していること等により、セグメント損失。
- ・ 一過性の費用としてB SLASH HOLDINGSを連結の範囲に含めたことに伴い、M&A手数料239百万円を計上。

- ・ 営業利益減益になるも、のれん償却額増加。

INDEX

目次

- 01 2026年8月期 通期業績概要
- 02 2027年8月期 業績見通し
- 03 主なトピックス
- 04 第4次中期経営計画の進捗
- 05 株主還元の基本方針、配当予想
- 06 Appendix

01

2026年8月期 通期業績概要

全体(M&A含む)の成長目標 (CAGR)

売上高
CAGR
15.1% **1.5倍**

2024.08-2027.08(3年間)

全体(M&A含む)の成長目標 (CAGR)

EBITDA
CAGR
2.0% **1.1倍**

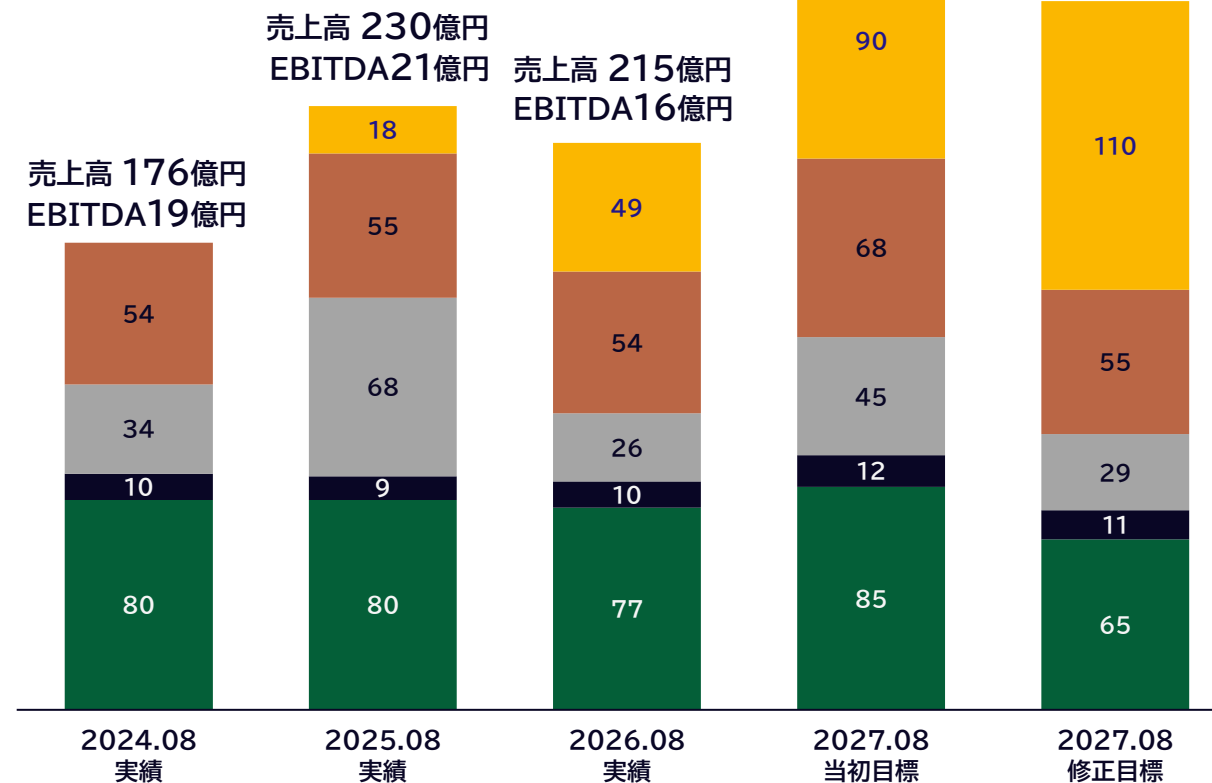
2024.08-2027.08(3年間)

既存事業の成長目標(CAGR)

売上高
CAGR
-3.1% **0.9倍**

2024.08-2027.08(3年間)

- M&A
- ライフスタイル事業
- 建設事業
- 化成品事業
- 金属加工事業



2027年8月期 目標(連結)

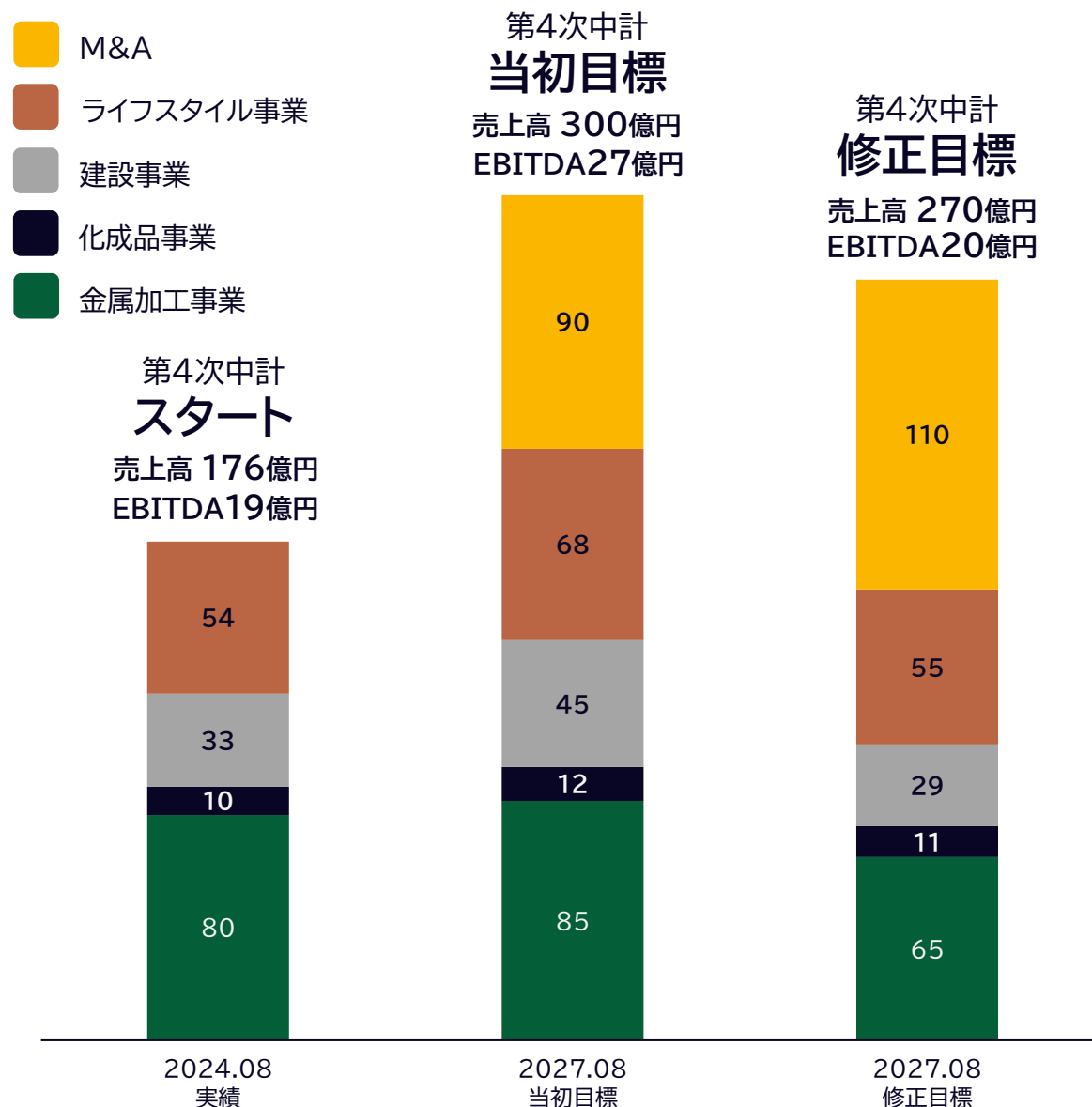
売上高
270億円
EBITDA
20億円

3ヶ年のM&A 投資枠

50億円
進捗 **29.1**億円(2026年8月時点)

先行投資枠 (人財・新規事業・新製品開発)

10億円
進捗 **7.4**億円(2026年8月時点)



通過点

計画見直し

金属加工事業 ▲20億円(当初目標 85億円 → 修正目標 65億円)

2026年5月のダイリツのグループアウトにより▲14.6億円
日創プロニティの計画見直しにより▲11億円

化成品事業 ▲1億円(当初目標 12億円 → 修正目標 11億円)

吾孺ゴム工業の計画見直しにより▲1億円

建設事業 ▲16億円(当初目標 45億円 → 修正目標 29億円)

工期の変更・延期と新規案件受注の下振れにより、
日創エンジニアリング▲16億円

ライフスタイル事業 ▲13億円(当初目標 68億円 → 修正目標 55億円)

計画見直しによりニッタイ工業▲8億円、カナエテ▲3億円、
マルトク▲1億円

M&A +20億円(当初目標 90億円 → 修正目標 110億円)

大鳳、泉製作所、ベルフラッツの増収計画を、
90億円から110億円へ見直し+20億円

売上高は21,512百万円(前年同期比6.6%減)、営業利益は620百万円(同55.1%減)、経常利益は605百万円(同56.8%減)、当期純利益は517百万円(同43.6%減)となった。

- ・金属加工事業 データセンター関連案件が好調に推移したものの、太陽電池アレイ支持架台及び金属サンドイッチパネルが減少。
- ・化成品事業 前連結会計年度に子会社化した大鳳及び泉製作所の業績が期首から寄与
- ・建設事業 大型案件が集中し工事が大幅に進展した前期の反動を受けた
- ・ライフスタイル事業 当連結会計年度に子会社化したバルフラッツ及びビーズネクサスが売り上げに貢献

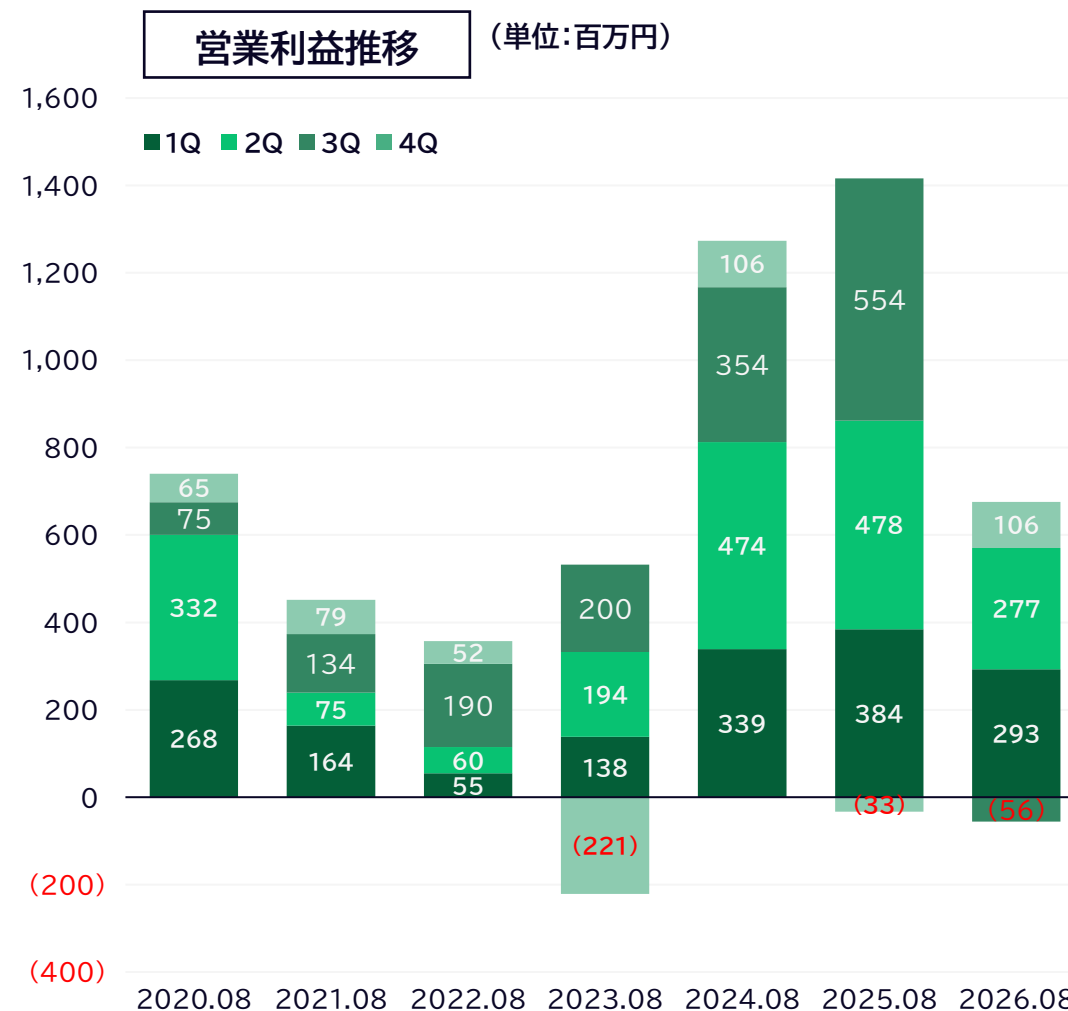
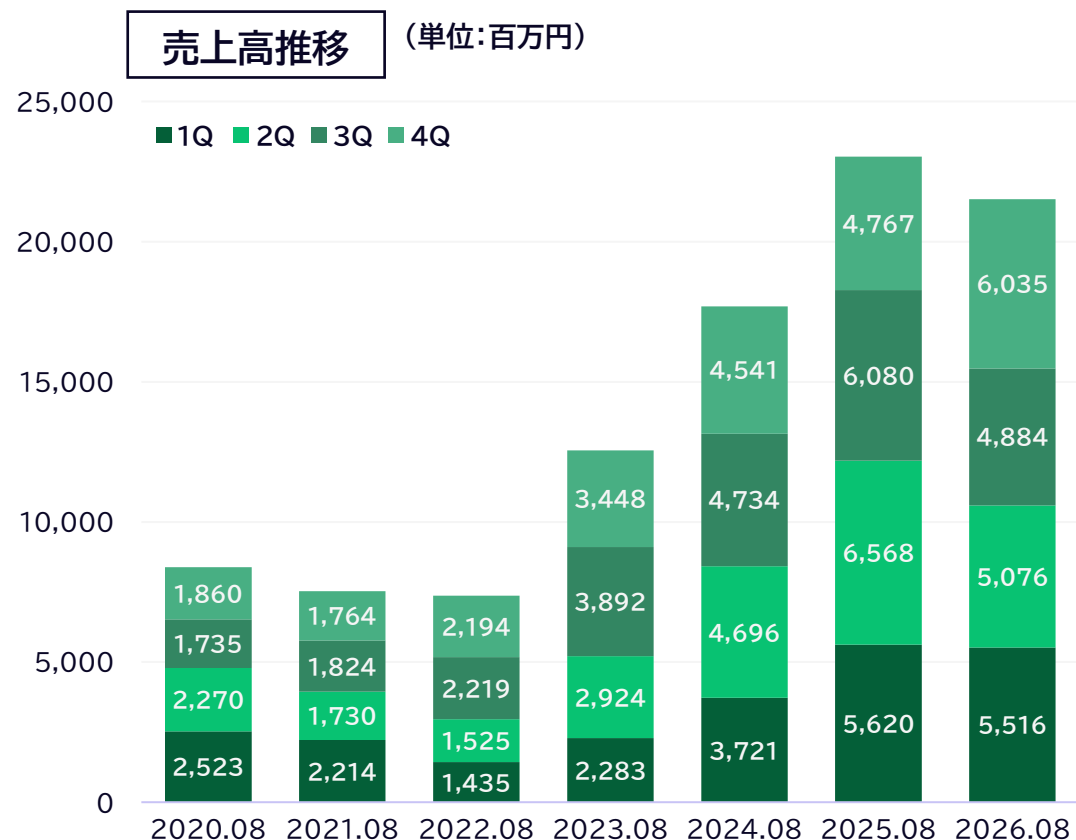
(単位:百万円)

	2025.08 実績	2026.08 実績	増減額	増減率	2026.08 公表値 (修正後)	増減率 (修正後)
売上高	23,037	21,512	▲1,525	▲6.6%	20,500	4.9%
営業利益	1,383	620	▲762	▲55.1%	300	106.9%
(営業利益率)	6.0%	2.9%	▲3.1%pt	—	1.5%	1.4%pt
経常利益	1,401	605	▲796	▲56.8%	268	125.9%
純利益	917	517	▲399	▲43.6%	542	▲4.5%
EBITDA*1	2,144	1,648	▲495	▲23.1%	1,339	23.1%
(EBITDA率)	9.3%	7.7%	▲1.6%pt	—	6.5%	1.2%pt
受注残	5,589	5,146	▲442	▲7.9%	—	—

*1EBITDA : 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

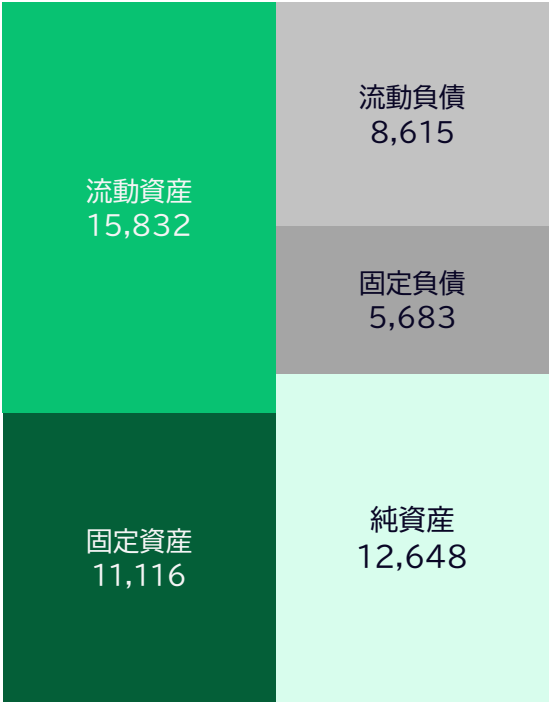
売上高・営業利益は、前年比マイナスでの推移。

B SLASH HOLDINGSの株式取得に伴うM&A手数料239百万円を一過性の費用として計上。



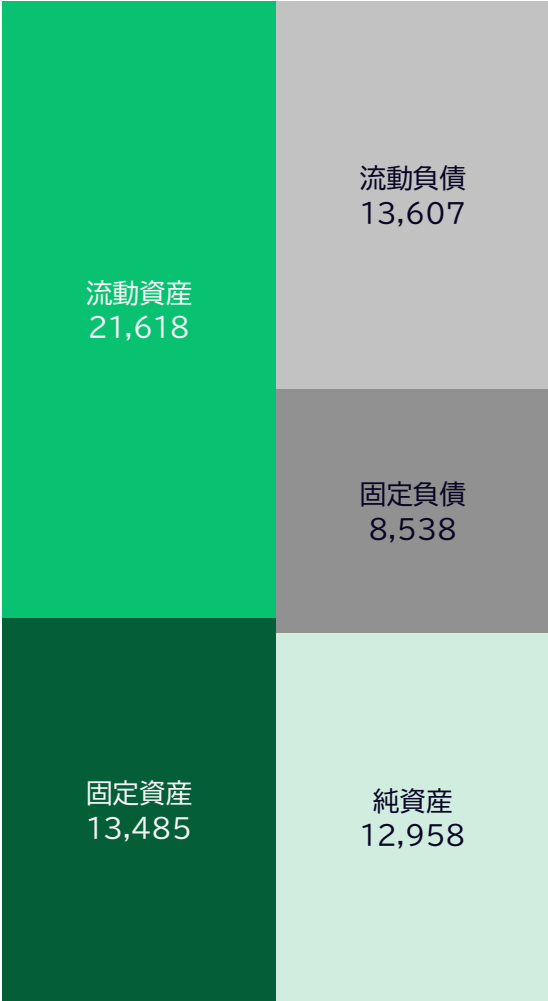
主に、M&AによりB SLASH HOLDINGSを連結の範囲に含めたことに伴うもの

総資産26,948



2025年8月期末

総資産35,104 前年同期比+8,156



2026年8月期末

(単位:百万円)

流動資産 前期末比+5,786

現金及び預金+3,229、販売用不動産+1,003
仕掛販売用不動産+3,189
売掛金▲491、契約資産▲855、
電子記録債権▲561

固定資産 前期末比+2,369

有形固定資産+1,088
無形固定資産のその他+1,231

流動負債 前期末比+4,991

短期借入金+3,429
1年内返済予定の長期借入金+600
未払法人税等▲337

固定負債 前期末比+2,854

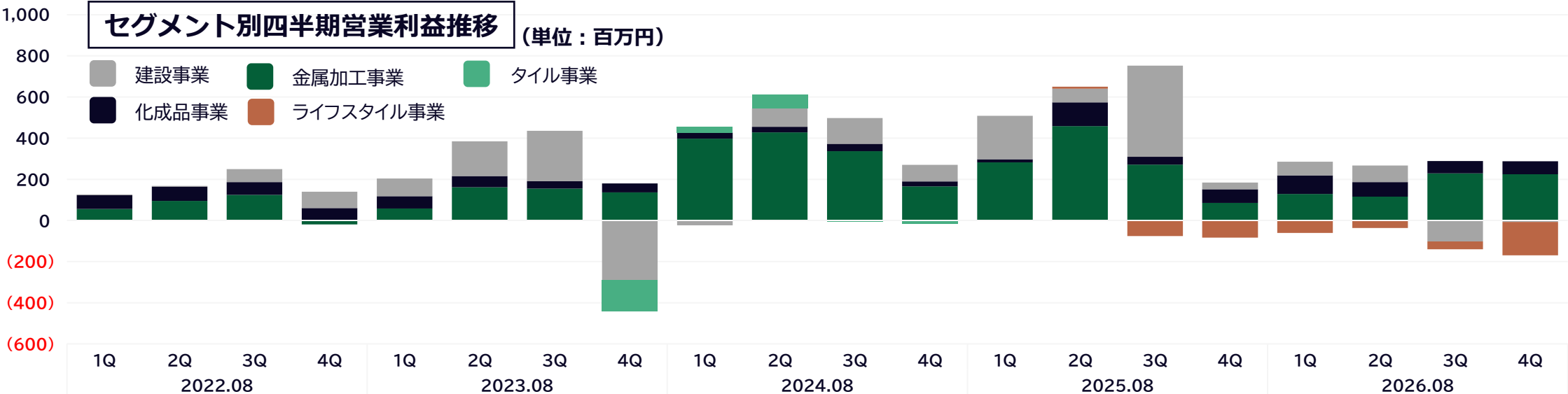
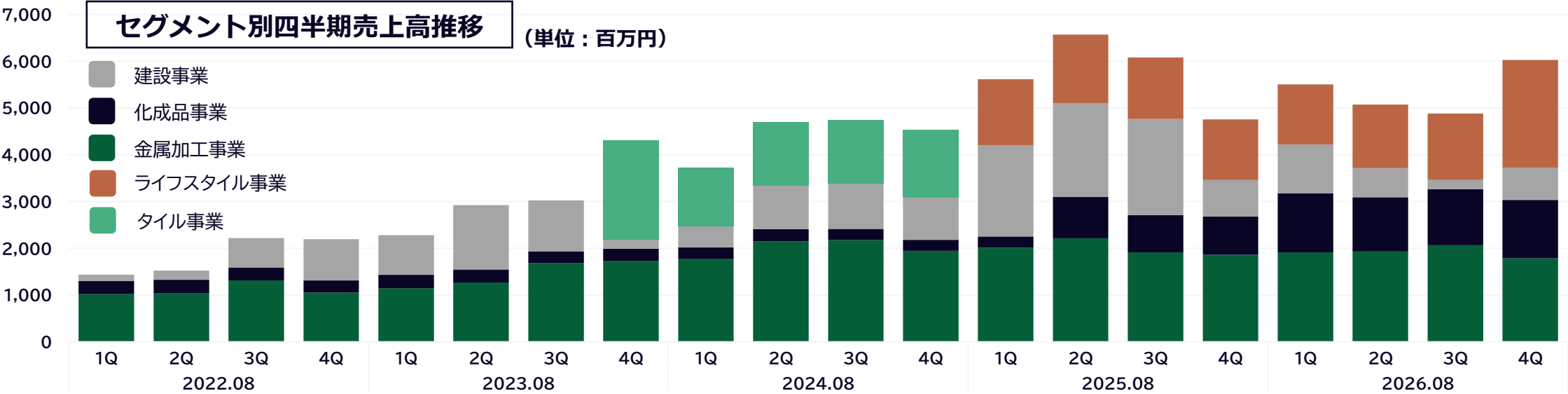
長期借入金+2,707

純資産 前期末比+309

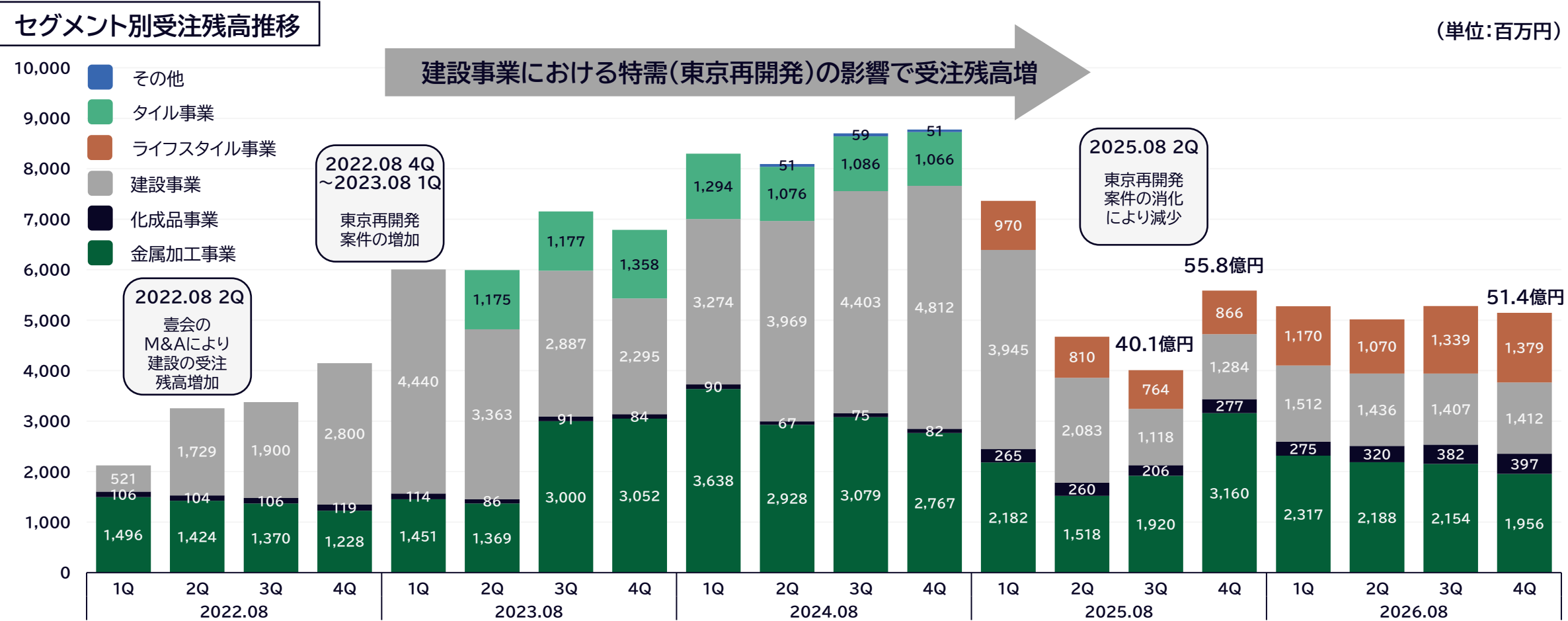
親会社株主に帰属する当期純利益の計上+517
剰余金の配当▲256

(単位:百万円)

	2025.08		利益率	2026.08		利益率	前年同期比		主な要因
売上高	23,037	(構成比)	—	21,512	(構成比)	—	▲1,525	▲6.6%	金属加工事業 データセンター関連案件は好調に推移したが、太陽電池アレイ支持架台及び金属サンドイッチパネルが減少した。 ・売上高 : 7,697百万円(前年同期比3.8%減) ・セグメント利益 : 698百万円(同36.4%減) ・受注残高 : 1,956百万円(同38.1%減)
金属加工事業	8,002	34.7%	—	7,697	35.8%	—	▲304	▲3.8%	
化成品事業	2,734	11.9%	—	4,869	22.6%	—	2,134	78.0%	
建設事業	6,796	29.5%	—	2,554	11.9%	—	▲4,241	▲62.4%	
ライフスタイル事業	5,491	23.8%	—	6,368	29.6%	—	876	16.0%	化成品事業 2025年8月期において子会社化した大鳳及び泉製作所の業績が期首から寄与。 ・売上高 : 4,869百万円(前年同期比78.0%増) ・セグメント利益 : 284百万円(同40.1%増) ・受注残高 : 397百万円(同43.0%増)
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	
調整額	12	0.1%	—	22	0.1%	—	10	83.3%	
セグメント利益	1,383	(構成比)	—	620	(構成比)	—	▲762	▲55.1%	
金属加工事業	1,097	79.3%	13.7%	698	112.5%	9.1%	▲399	▲36.4%	建設事業 大型案件が集中し工事が大幅に進展した前期の反動減 ・売上高 : 2,554百万円(前年同期比62.4%減) ・セグメント利益 : 42百万円(同94.9%減) ・受注残高 : 1,412百万円(同10.0%増)
化成品事業	203	14.7%	7.4%	284	45.8%	5.8%	81	40.1%	
建設事業	753	54.5%	11.1%	38	6.2%	1.5%	▲715	▲94.9%	
ライフスタイル事業	▲150	▲10.9%	▲2.7%	▲299	▲48.3%	▲4.7%	▲149	—	
その他	—	—	—	▲4	▲0.7%	—	▲4	—	ライフスタイル事業 2026年8月期において子会社化した、ベルフラッツ及びビーズネックスが売上に寄与した。 一方、カナエテにおける新規事業の立ち上げに伴う認知度向上、顧客獲得及び販売基盤の構築に向けた先行投資に加え、ベルフラッツにおいて、来期以降の竣工物件に対する広告費が先行して計上された。 ・売上高 : 6,368百万円(前年同期比16.0%増) ・セグメント損失 : 299百万円(前年同期は▲150百万円) ・受注残高 : 1,379百万円(同59.2%増)
調整額	▲520	▲37.6%	—	▲96	▲15.6%	—	423	—	
営業利益	1,383	—	6.0%	620	—	2.9%	▲762	▲55.1%	



受注残高は、建設事業において特需の東京再開発案件消化が進み減少。
平常時の受注残高水準に戻るも、全体としては2025年8月期3Qに底打ち。



02

2027年8月期 通期業績見通し

【売上高】 +5,487百万円(前年同期比)

(減収要因)金属加工事業 2026年8月期のダイリツ売却による減収を想定
(増収要因)ライフスタイル事業 2026年8月期にM&Aを行ったベルフラッツ、ビーズネクサスの売上が期首から寄与することによる増収を想定

【各段階利益】 営業利益+279百万円、経常利益+124百万円、当期純利益▲257百万円、EBITDA+371百万円(前年同期比)

- ・2026年8月期のダイリツ売却による減益、主にライフスタイル事業の増収に伴う増益を想定
- ・当期純利益は、2026年8月期に特別利益(関係会社株式売却益)等の影響がないため、減益予想の260百万円を想定

	2026.08 実績	2027.08 通期業績見通し	前年同期比	
売上高	21,512	27,000	+5,487	25.5%
営業利益	620	900	+279	45.0%
(営業利益率)	(2.9%)	(3.3%)	(+0.4%pt)	—
経常利益	605	730	+124	20.6%
当期純利益	517	260	▲257	▲49.7%
EBITDA*1	1,648	2,020	+371	22.5%
調整後EBITDA*2	1,890	—	—	—

*1 EBITDA : 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額
*2 調整後EBITDA : 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + M&A手数料等

03

主なトピックス

JOA株式会社は米国フランク・ロイド・ライト財団から、日本で唯一のライセンス認定を受けた「オーガニックハウス®」のFC本部を運営



米国
フランク・ロイド・ライト財団



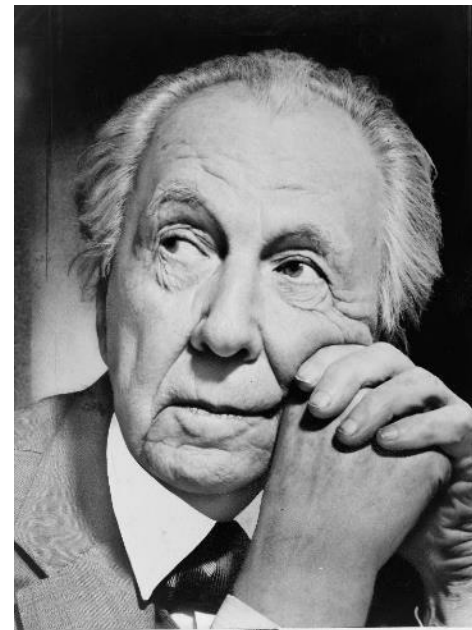
JOA株式会社が本部運営

FC加入先
約100社



▲「オーガニックハウス®」における
ベーススタイル事例(HPより)

「オーガニックハウス®」では、世界的な著名建築家であるフランク・ロイド・ライトが提唱した「有機的建築」を基本思想としている。自然を取り入れた建築を基礎とし、自然素材(タイル・レンガ・木材)を活用する特徴を持つ。



フランク・ロイド・ライト
Frank Lloyd Wright
(1867-1959)

近代建築の三大巨匠の一人。
自然と調和する「有機的建築」
を提唱した。



▲フランク・ロイド・ライトの日本での建築例
(上)帝国ホテル、(中)自由学園明日館、
(下)ヨドコウ迎賓館(旧山邑左衛門邸)

資本業務提携により想定する効果

①ニッタイ工業のタイル採用へ向けた活動

- 自然素材の一つとして重要な建材であるタイルを製造・販売するニッタイ工業とJOA社の展開する「オーガニックハウス®」の設計思想がマッチ。
- 設計コンセプトに適合した製品の提案を通じ、ニッタイ工業の販路拡大とJOA社の「オーガニックハウス®」の設計思想強化両立を目指す。

ニッタイ工業(タイル製造・販売)



JOA「オーガニックハウス®」



- ニッタイ工業の得意分野である「湿式タイル」の提案。
- 「乾式タイル」においてもタイルメーカーの知見を活用しながら、設計思想にジャストフィットした建材提案により相互の付加価値を高める。

②グループ製品の提案活動展開

- フランク・ロイド・ライトの提唱した、自然との調和を重視する「有機的建築」をベースとする「オーガニックハウス®」の設計には、タイル、レンガ、木などの自然素材を多用する特徴があり、当社グループで扱う建材との親和性が高い。
- 特に、ライフスタイル事業セグメントの各社事業とのマッチングを行い、FC先への提案活動を実施予定。

ニッタイ工業(タイル製造・販売)



カナエテ(住宅設備機器販売)



マルトク(内装木材加工)



シキファニチア(洋家具製造)



日創リフレイファンドとは



九州初の取組み (自社調べ、事業会社が単独で約100%を出資して事業継承ファンドを組成する事例として)

名称 : 日創リフレイ1号投資事業有限責任組合 (呼称: 日創リフレイファンド)
 組成日 : 2026年10月2日
 ファンド総額 : 20億円
 運用期間 : 8年間(2026年10月～2034年12月)

- ・「リフレイ」とは・・・「みがく(Refine)」「つなぐ(Relay)」から生まれた造語
- ・日本プライベートエクイティ様が主導、西日本シティ銀行様と当社がLP(有限責任組合員)として参加
- ・3社の強みを生かして投資先の“磨き上げ”を行い、事業を次世代につなぐ事業継承支援を行う

日創リフレイファンド 3つのポイント

ファンド総額

累計 **20** 億円

①新たな収益機会の獲得と資本収益性の向上

- ・従来型のM&Aに加え、売却を前提とした「エグジット型M&A」を導入
- ・ファンドでのバリューアップ後、第三者への売却により新たな収益機会の獲得と資本収益性の向上を目指す

②投資対象領域の拡大と専門性を有するファンド運営会社によるパフォーマンスの最大化

- ・ファンドスキームの活用により、これまでアプローチが届かなかった業種・規模の有望な企業も探索が可能
- ・事業承継分野において高度な専門性を持つ日本プライベートエクイティ様が投資の意思決定と運用能力を最大限発揮することで、パフォーマンスの最大化を目指す

③事業承継問題の解決(社会的価値)

- ・優れた技術や顧客基盤を持ちながら、後継者問題を抱える優良中小企業を一時的にファンドで引き受け、次世代への橋渡し(事業承継支援)を行うことで日本の中小製造業等の未来を次世代に繋ぐ

第4次中期経営計画の進捗

①M&A投資(成長ドライバーとして重要視)

- ・当社グループのM&Aが持つ社会的価値と経済的価値の両立
- ・「日創M&Aセブンルール」の明文化
- ・蓄積されたノウハウによるPMIの実行

投資枠
50億円

2027年8月期
修正後目標(連結)

売上高
当初目標
300億円 **270**億円

EBITDA
当初目標
27億円 **20**億円

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

②先行投資(中長期的な成長のため)

- ・人財・新規事業・新製品開発への先行投資
- ・設計工程や調達を一部海外へ移転する海外拠点化プロジェクト

投資枠
10億円

③持株会社化によるグループ支援体制の拡充

- ・プロフェッショナル人財「七人の侍」によるグループ支援体制の拡充
- ・グループ横断的な営業戦略・製造原価低減・新規事業・新製品開発などの推進
- ・さらなるグループシナジーを追求できる組織体制へ進化

NI
七人の侍

3ヶ年のM&A
投資枠

50億円

④資本コストや株価を意識した経営

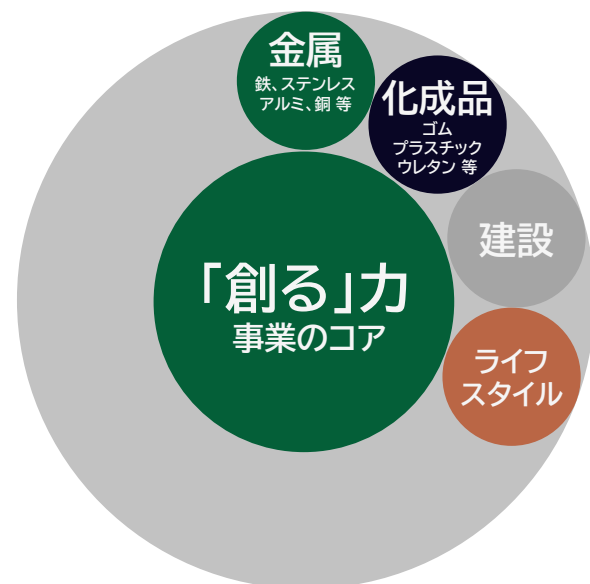
- ・当社グループのPBR、ROEといった現状を分析
- ・当社グループが考える目指すべきROE水準の設定
- ・達成するための具体的なアクションプランの実行

ROE
目標8%

先行投資枠
(人財・新規事業・新製品開発)

10億円

事業のコアである「**創る**」力を軸に、M&A・人財・新規事業・新製品開発へ積極的に投資しながら、様々な素材、加工技術を有する製造業や、その周辺事業を中心に事業領域を拡大し、「**創る**」力で未来に挑む企業グループを目指す。



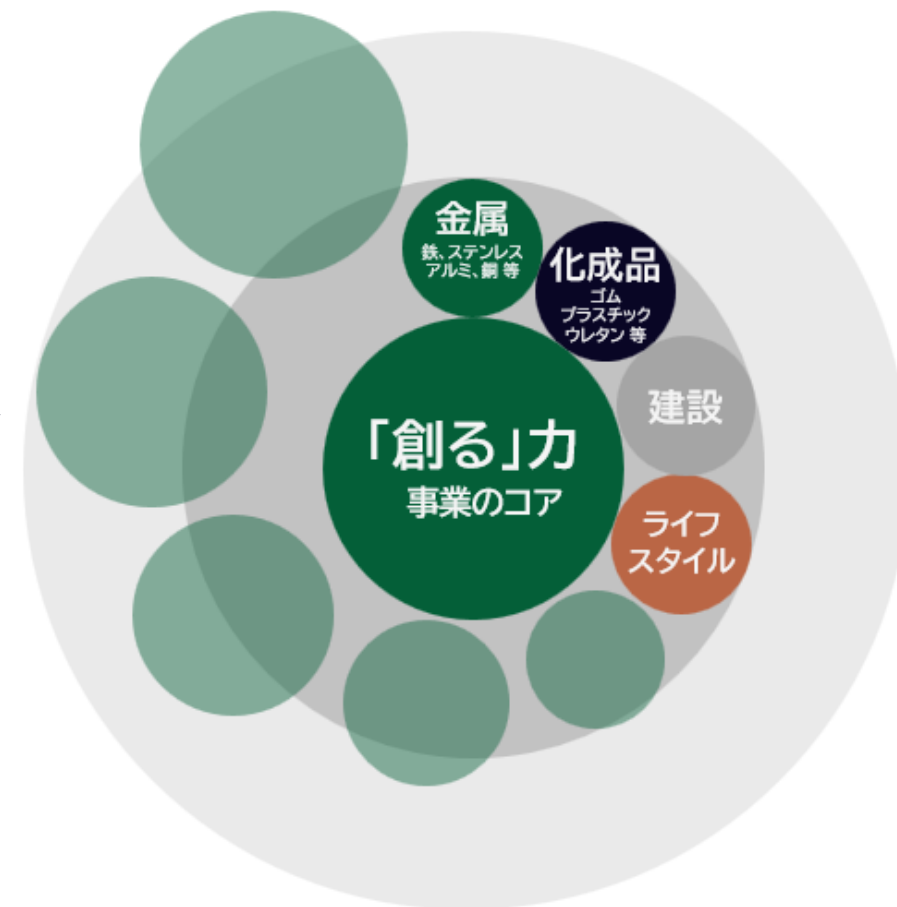
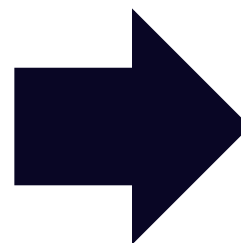
M&A投資

50億円

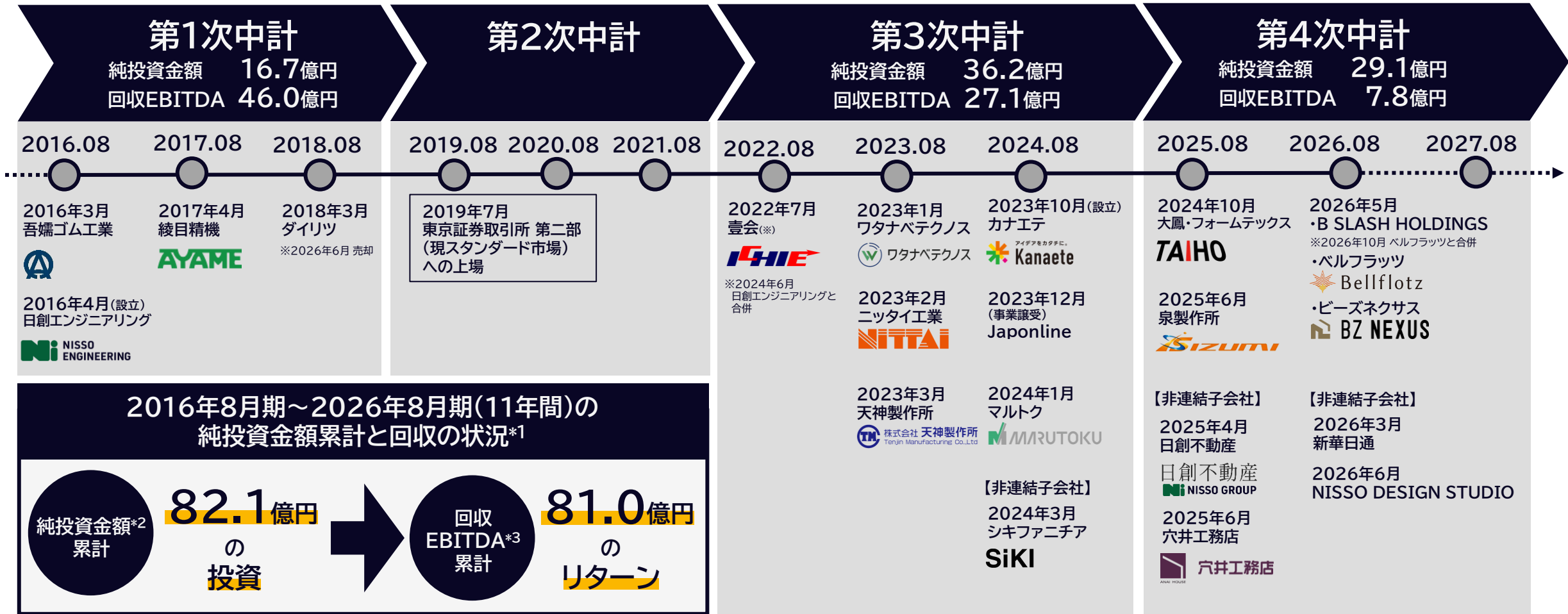
先行投資
人財・新規事業・新製品開発

10億円

M&A×「創る」力
成長の両輪
エリアと事業分野の拡大



累計16社のトラックレコード(連結子会社・2026年8月期末時点)



元来その企業が有している人財力や企業文化を尊重し、十分にコミュニケーションを取りながら、計数管理やガバナンスを浸透、経営の見える化を推進。

経営管理面でのPMI

経営の
見える化

- ・計数管理(財務会計、予実管理、原価管理等)
- ・必要に応じ社内人財派遣、社外人財招聘

ルール
づくり

- ・規程類の制定、内部統制・ガバナンス体制づくり
- ・会計システムの共通化

意識面・人事面でのPMI

コミュニ
ケーション

- ・定期的な経営会議の開催
- ・役員・従業員との活発なコミュニケーション

経営
幹部会

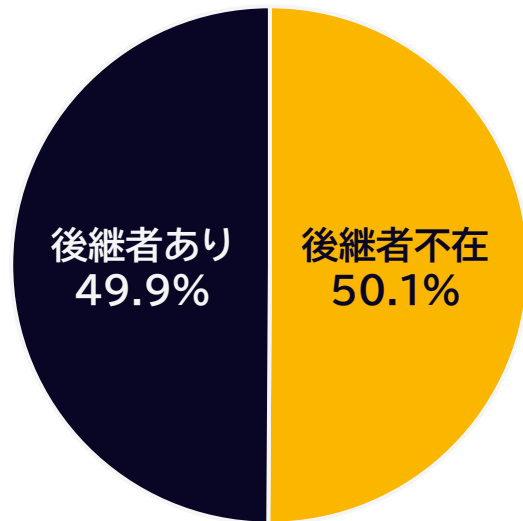
- ・グループ全体の経営目標やビジョンの浸透
- ・プロパー人財の経営幹部登用

最も重視していること

経営の見える化、コミュニケーション

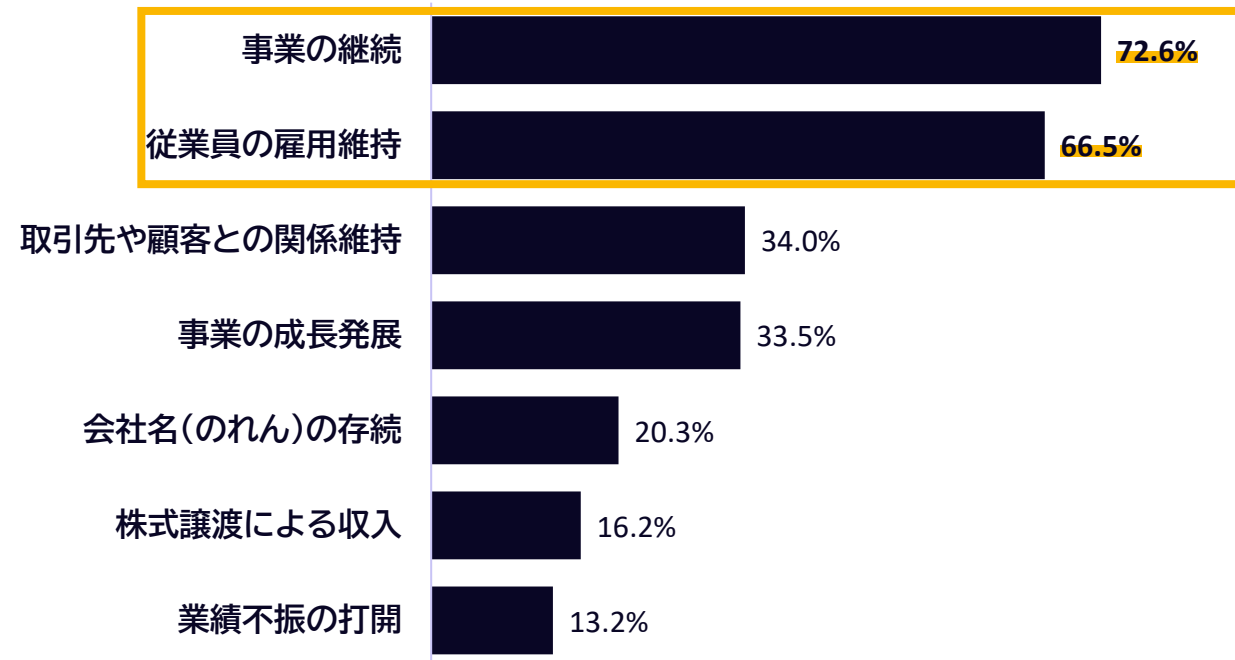
- ・中小企業において事業承継ニーズは依然として高く、**今後も積極的に規律あるM&Aを行う方針**。
- ・**後継者不在**に悩む中小企業経営者は多く、社会課題となっている。
- ・**M&Aを通じて社会課題**を解決しながら、さらなる事業成長を目指す。

後継者不在率



出典:帝国データバンク「全国企業後継者不在率動向調査」(2025年)より当社作成

事業譲渡を検討する理由



出典:東京商工会議所「事業承継に関するアンケート」(2023年)より当社作成
(※複数回答のため合計は100%にならない)

第4次中期経営計画(2025年8月期～2027年8月期)において設定した各投資枠

① M&A投資 (成長ドライバーとして重要視)

投資枠
50億円

累計投資額

29.1 億円

社数 : 11社 (連結子会社7社、非連結子会社4社)

投資枠進捗率

58.2 %

※投資金額＝株式譲渡対価＋M&A手数料等±BS連結時のネットキャッシュ(ネットデット)

② 先行投資 (中長期的な成長のため)

投資枠
10億円

人財・新規事業・新製品開発

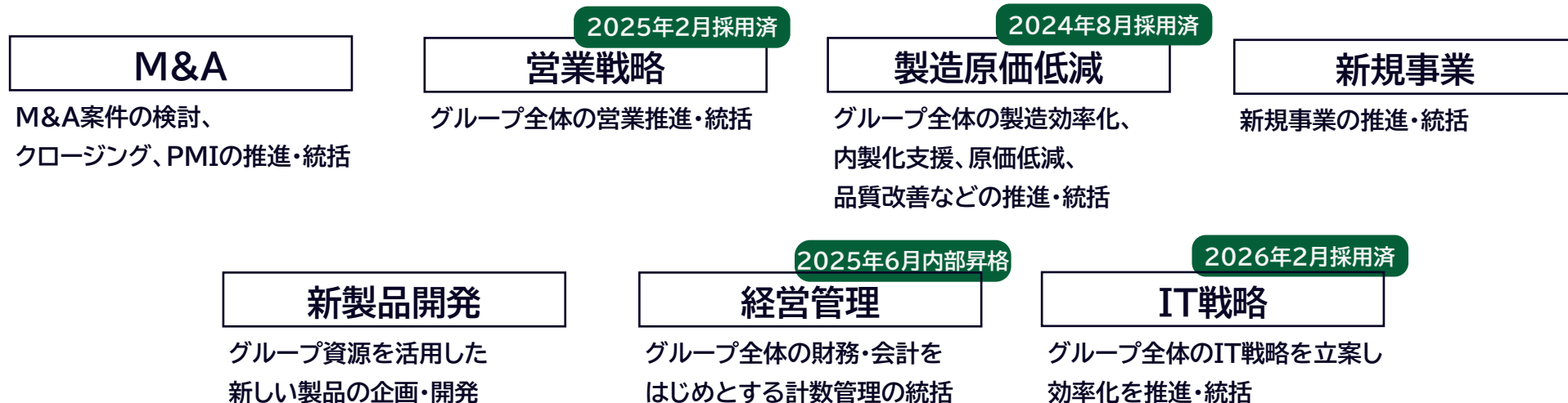
7.4 億円

主な投資分野

- ・プロフェッショナル人財の採用
- ・住宅関連
- ・住宅設備関連製品の開発
- ・ものづくりWEBサービス
- ・AI

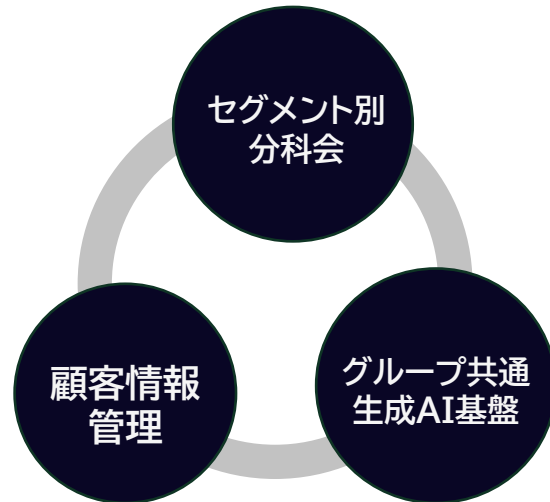
- ・M&Aによる会社数の増加に伴い、グループで取り組むべき課題が増加。
- ・持株会社体制への移行に伴い、各事業会社を多面的かつグループ横断的に支援する体制を強化する。
- ・グループ経営を牽引するプロフェッショナル人財として「七人の侍」の採用と育成を推進中。

NI 七人の侍



横ぐし連携の基盤整備：組織的・継続的に連携を推進できる仕組み作り

会社・事業を横断して
情報交換を行い、
顧客課題や連携機会を発掘



顧客接点・人脈情報を可視化し、
グループ内で活用できる
基盤を整備

情報活用的高度化、
業務効率化、
提案力向上を推進

金属加工分科会（2026年2月～）



化成品分科会（2025年10月～）



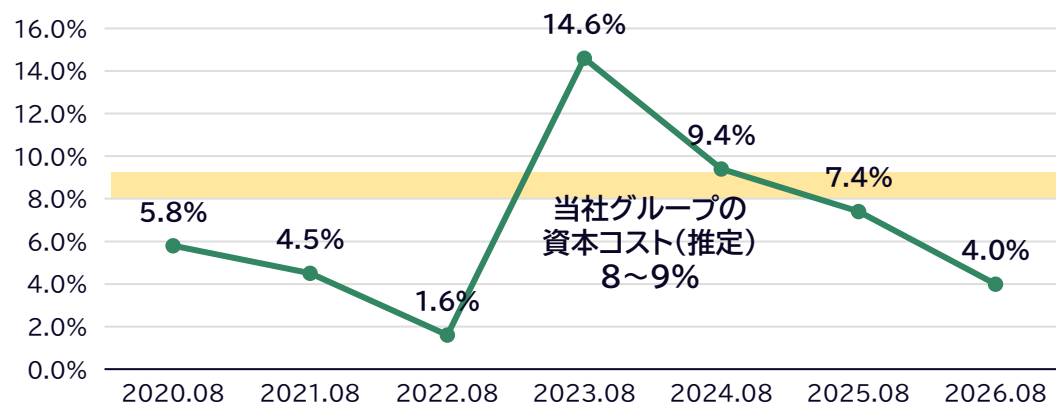
建材分科会（2025年11月～）



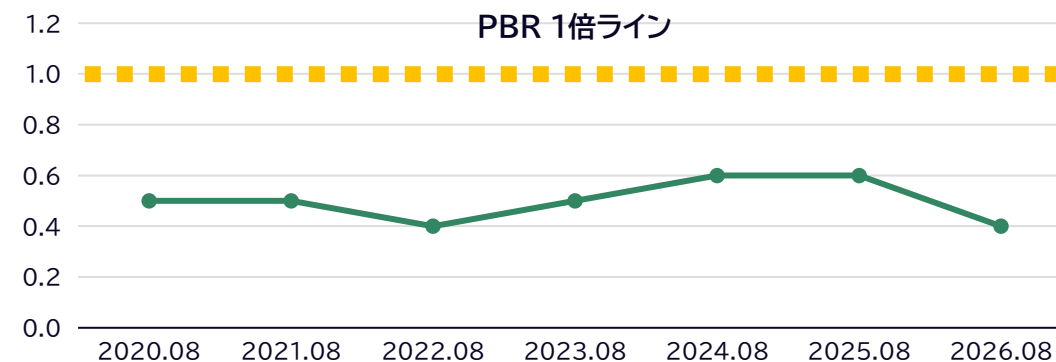
当社グループの資本コストは8～9%と推定。※資本コスト(株主資本コスト) $8.73\% = \text{リスクフリーレート } 2.92\% + \beta \ 0.90 \times \text{マーケットリスクプレミアム } 6.45\%$

- ・ ROE:2022年8月期を境に改善したが、低下傾向にあり資本コストを下回っている。
- ・ PBR:1倍を下回る0.4～0.6倍で推移。
- ・ PER:改善傾向であるものの、当社の成長性に対する評価や期待度は、依然として低い。

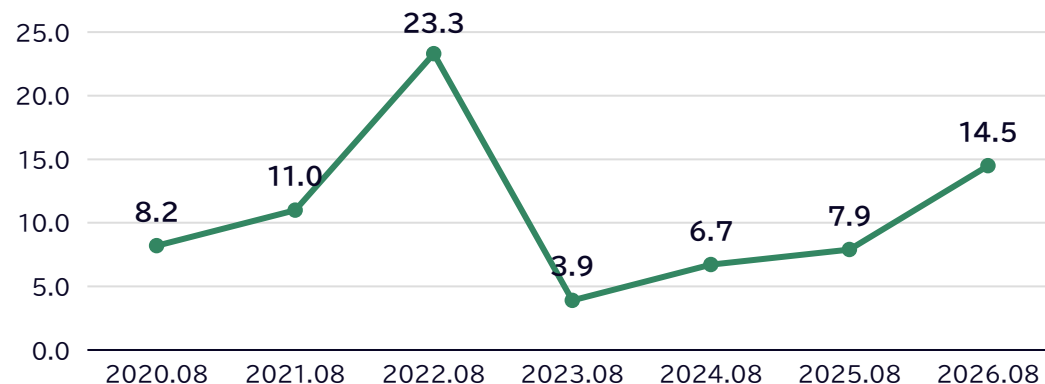
ROE(%)



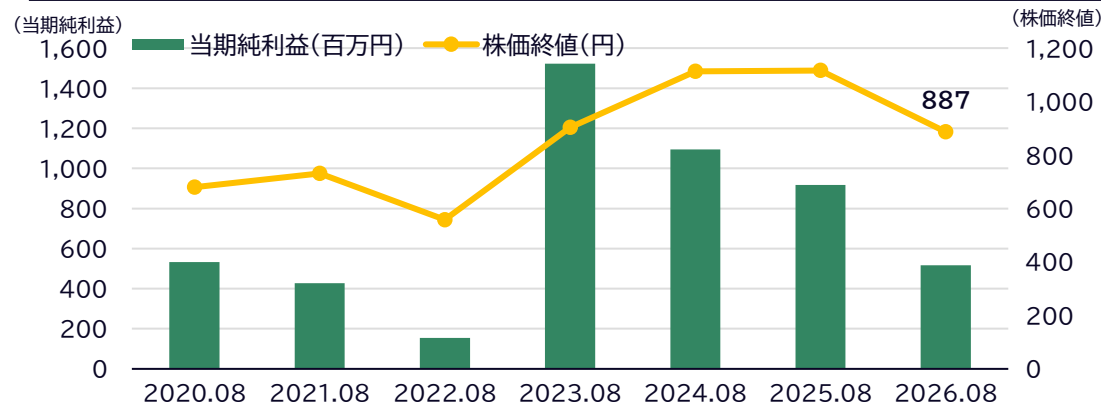
PBR(倍)



PER(倍)



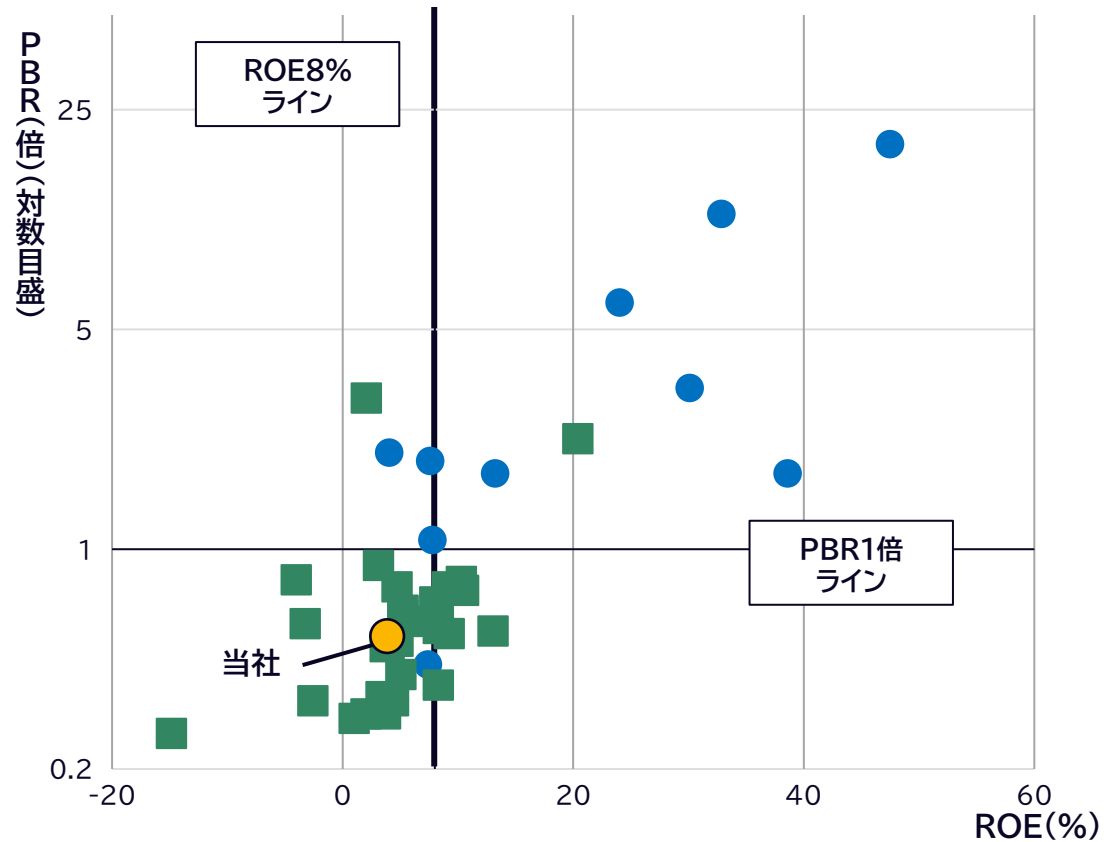
当期純利益(百万円)と株価終値(円)



当社株式：東証33業種分類上「金属製品」

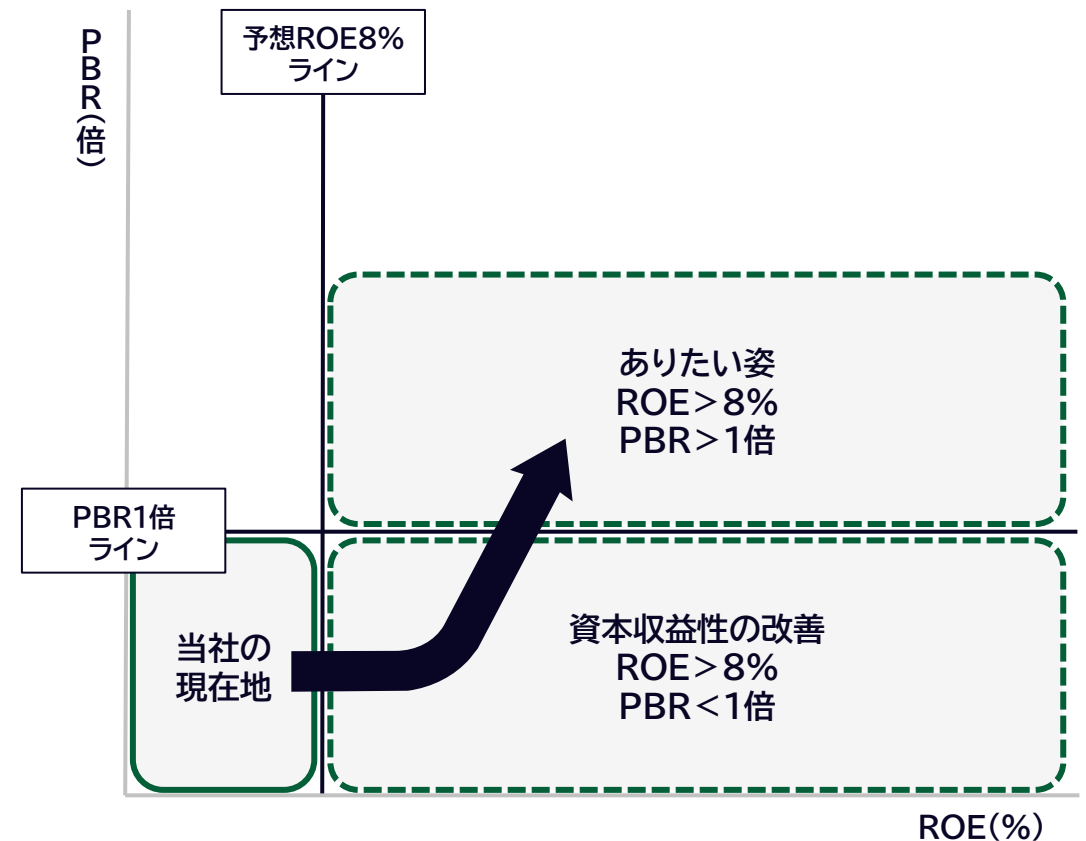
vs ■ 同業種分類(時価総額 約50～200億円)企業 … ROE、PBR水準に近い企業が多い

vs ● M&A型成長企業との比較 … ROE 8%超、PBR 1倍超となっている企業が多い

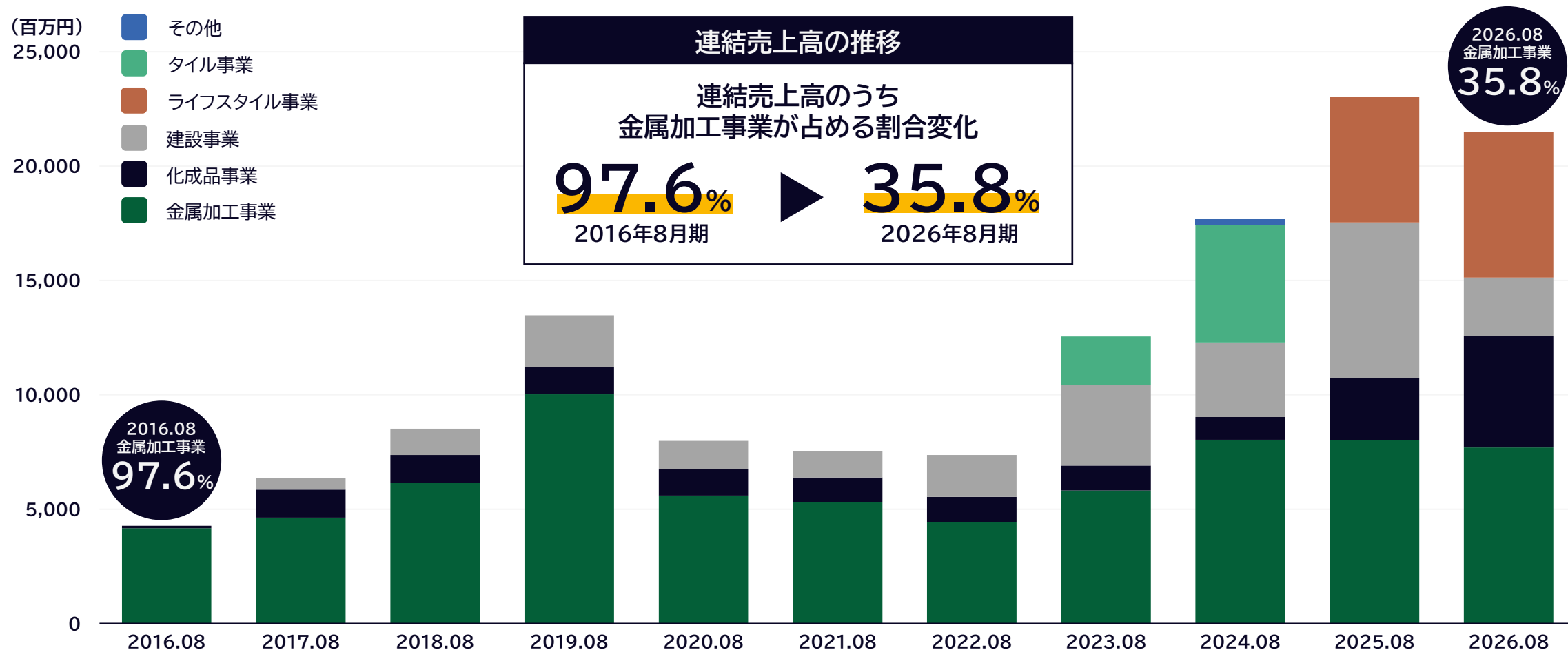


● M&A型成長企業 ■ 「金属製品」企業 (時価総額50～200億円)

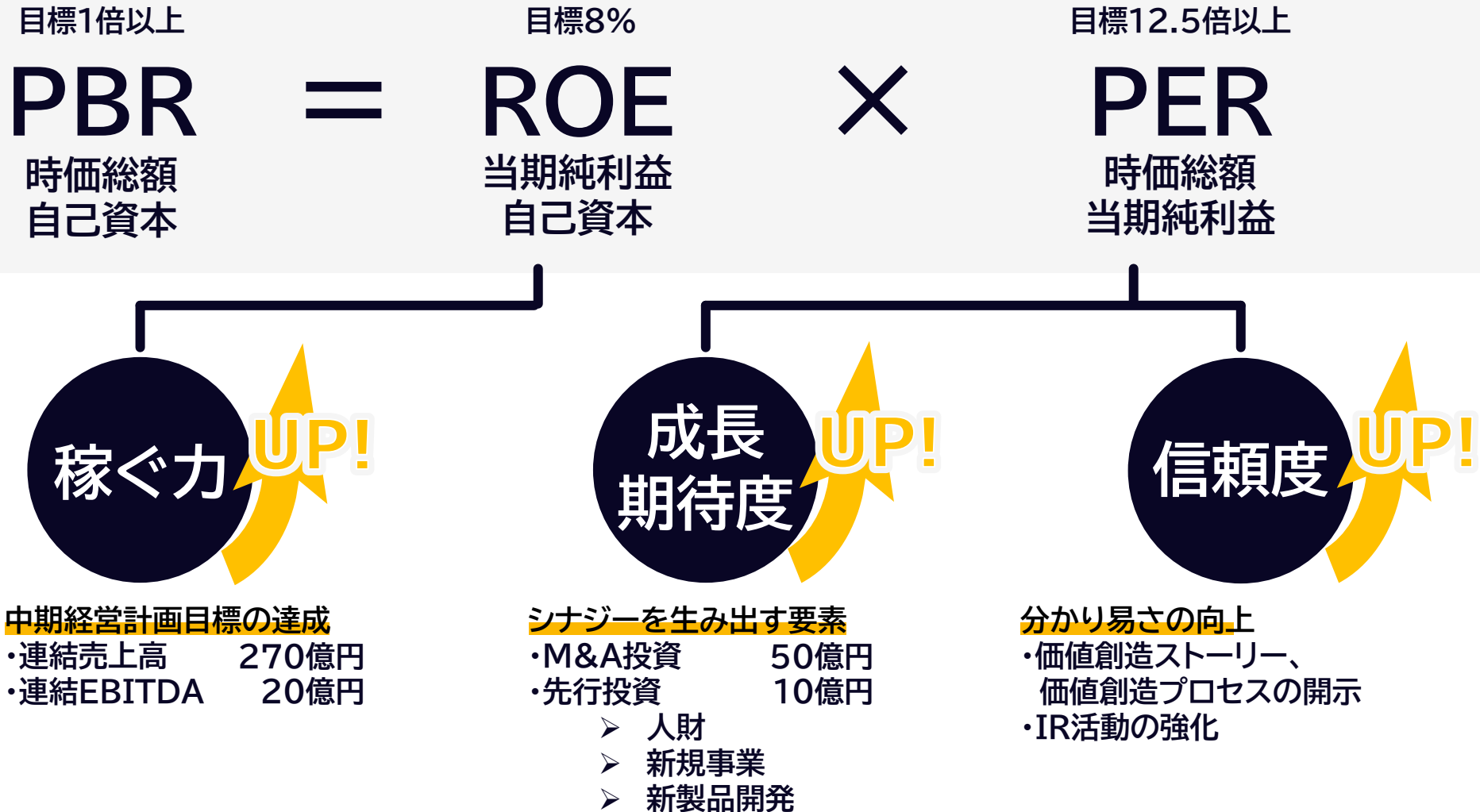
※各社2026年10月13日時点PBR・ROEで算定



当社株式は、東証33業種分類上「金属製品」にカテゴライズされているものの、連続的なM&Aを経て「金属製品」以外のに業種に広がりを見せている。グループ経営開始時の2016年8月期時点で売上高全体の97.6%を占めていた金属加工事業の割合が、2026年8月期時点で35.8%まで低下。



PBR1倍以上を達成するため、稼ぐ力と成長期待度・信頼度をあげていく。



M&Aによる成長	「創る力」による成長	先行投資	海外市場へ展開	ファンドへの取組み
M&Aで企業・技術・人財を獲得し、グループの「創る」力を磨き上げる	新製品・新規事業を創出し、シナジー・販路拡大、原価低減を行う	持続的な成長のため、人財・新規事業・新製品開発への先行投資を継続的に行う	日本で培った「創る力」を海外市場へ展開する ・海外拠点化プロジェクト ・海外調達 ・海外販売 ・海外M&A(生産)	・バリュアップ後の売却による収益機会の獲得と資本効率の向上を目指す ・ファンドの活用により、アプローチできていなかった業種・規模の企業を探索 ・後継者問題を抱える優良中小企業を一時的に引き受け、事業継承支援を行う
M&A×「創る」力 成長の両輪 エリアと事業分野の拡大				

企業・事業・市場・人財を創り、そこで生まれたキャッシュを次の成長へ再投資



価値を創造する「投資・事業創造グループ」を目指す

価値を創造する「投資・事業創造グループ」を目指す



「創る」力を還元する

- ・生み出した付加価値を
ステークホルダーへ還元する
- ・事業で獲得したFCF_{*1}を
再投資に振り向ける
- ・資本コストと株価を意識
した経営の推進

*1:フリーキャッシュフローのこと



「創る」力をつなぐ

- ・各社の力を連携し、無駄なく活かす
- ・顧客基盤の共有
- ・各社のリソースを結集し、
新製品開発、新規事業を実現
- ・設計工程や調達を一部海外へ移転する
海外拠点化プロジェクト



「創る」力を広げる

- ・M&Aへの戦略的投資
- ・設備投資



「創る」力を鍛える

- ・人財への投資
- ・製造原価の削減
- ・PMI_{*2}により事業基盤を鍛える
- ・ハード以外のソフト力を強化
(品質、技術、デザイン、DX)
- ・成長が期待される既存事業強化
(再エネ、パネル、DC_{*3}向け)

*2:M&A後の経営統合プロセスのこと

*3:データセンターの略

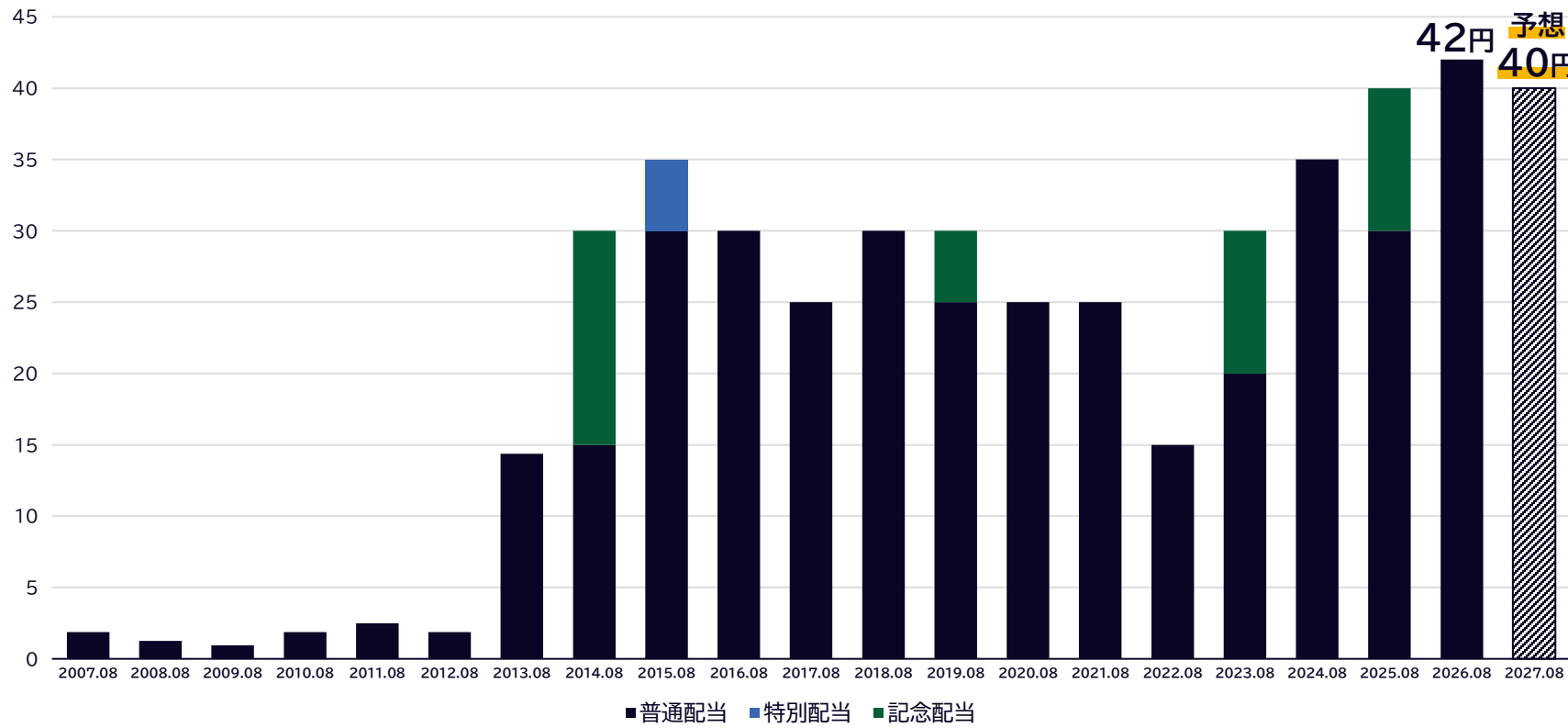
2025年8月期よりIR活動を強化。投資家との接点を増やし、継続的な情報開示と内容の拡充を推進。

	2024年8月期	2025年8月期	2026年8月期
IRイベント 登壇	・2024年4月福証IRフェア登壇	・2025年1月福証IRフェア登壇 ・2025年5月湘南投資勉強会登壇 ・2025年8月福岡セミナー登壇	・2025年10月西日本新聞IRイベント登壇 ・2026年1月福証IRフェア登壇 ・2026年4月神戸投資勉強会 ・2026年8月Kabu Berry Lab登壇
決算説明 資料開示	・4Q決算説明資料	・2Q決算説明資料 ・3Q決算説明資料 ・4Q決算説明資料	・1Q決算説明資料 ・2Q決算説明資料 ・3Q決算説明資料 ・4Q決算説明資料
決算説明会 の実施	・1on1取材の実施(機関向け) ・福証での記者会見(2Q、4Q)	・1on1取材の実施(機関向け) ・福証での記者会見(2Q、4Q) ・2Q決算説明動画の公開 ・3Q決算説明会(配信) ・4Q決算説明会(配信)	・1on1取材の実施(機関向け) ・福証での記者会見(2Q、4Q) ・1Q決算説明会(配信) ・2Q決算説明会(配信) ・3Q決算説明会(配信) ・4Q決算オンラインQ&A(配信)
決算説明 動画開示	・公開なし	・2Q動画公開 ・3Q動画公開 ・4Q動画公開	・1Q動画公開 ・2Q動画公開 ・3Q動画公開 ・4Q動画公開

株主還元の基本方針、配当予想

株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と認識すると共に、**持続的な成長と企業価値向上**を図るための資金を、成長投資に振り向けていくことに力点を置きながら、各事業年度の経営成績を勘案して配当を行うことを基本方針としております。

(単位:円. 銭)



注.2007年8月期～2013年8月期は株式分割を反映後の修正後1株配当

成長投資推進

- ・人財投資
- ・M&A投資
- ・設備投資
- ・新規事業・新製品開発

財務健全性確保

- ・借入金や自己資本のバランスを重視

株主還元強化

- ・業績を勘案しつつ配当金を継続的に充実
- ・時機を見ながら自己株式取得の実施

配当について

- 積極的な成長投資と利益の最大還元を両立
- ・2026年8月期：42円(配当性向52.1%)
 - ・2027年8月期：40円(配当性向98.8%)

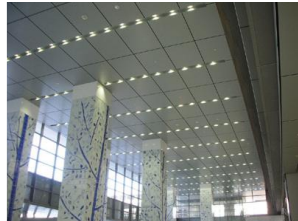
06

Appendix

日創プロニティ株式会社



建築建材・環境エネルギー・機械装置・土木等、様々な業界に向けた、コイル鋼材から一気通貫の金属加工に強み。



天井パネル



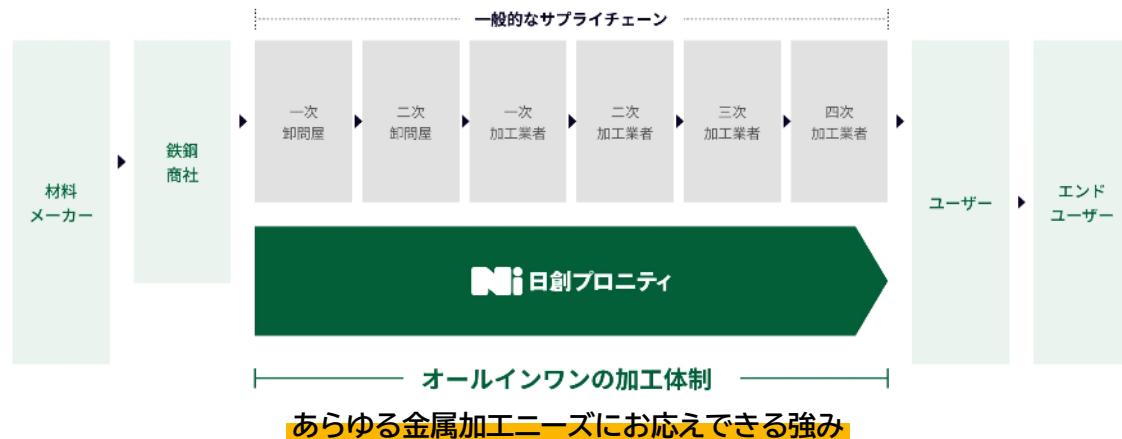
耐火パネル



産業用ソーラーカーポート



一人用WEB会議室
SOLO BASE



金属加工事業

株式会社ワタナベテクノス



データセンターやビルなどに設置される非常用発電機を収納するための防音・消音筐体を製造。技術力、大型筐体製作力に強み。



データセンター向け3900kVAクラス発電機用防音エンクロージャ



圧縮機用パッケージ



発電装置用パッケージ



遠心脱水機

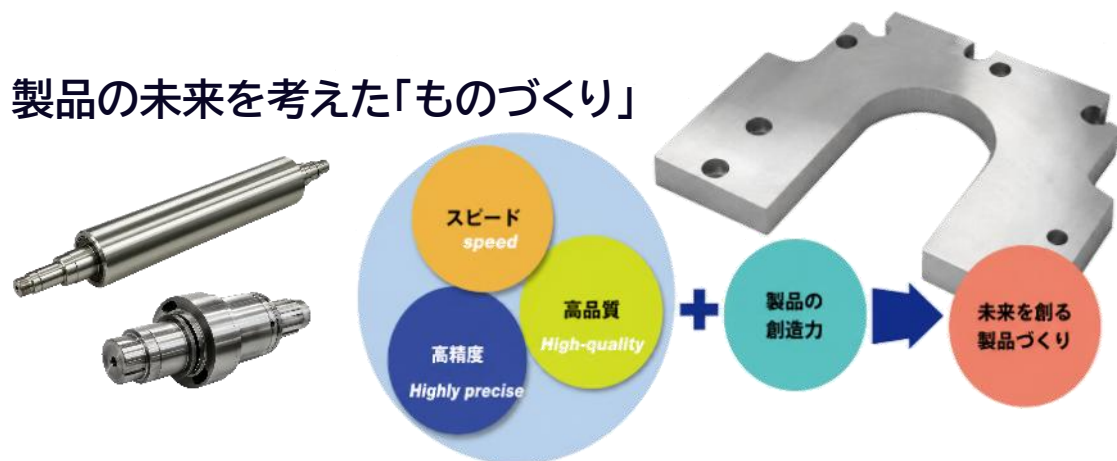
金属加工事業

綾目精機株式会社



印刷機、フィルム製造機、芝刈り機、ポンプ、エスカレーターなどに採用される金属精密部品の切削加工が強み。

製品の未来を考えた「ものづくり」



主な製作納入事例



オフセット印刷機シャフト



巻取機・燃系機部品



発電機用軸受

金属加工事業

株式会社天神製作所



大型畜産農場等で導入される畜産排泄物の堆肥化プラント製造に強み。堆肥化するペレットマシンにも強み。



TM片懸垂式発酵攪拌機
10～18m幅×100mの堆肥舎を堆肥高約3mにて堆肥化処理可能な機械設備。



TMロータリー攪拌機
シンプルに投入・取り出しができ、扱いが簡単。



TM供給ホッパー
堆肥の製品化・ペレット化に使用され、工場の粉体投入などでも使用される設備。



TMペレットマシン
シンプルで操作が簡単で、安価にペレットづくりができる。

金属加工事業

吾孺ゴム工業株式会社



原料ゴムからの一貫生産を行うゴムメーカーとして、土木製品、工業製品、建築製品、車両用品、道路用品等の加工・製造に強み。



AZラバージョイント(耐震可とう継手)
耐震性・止水性にすぐれた下水道マンホール接手。



TTJ(耐震可とう継手)
孔内部作業のみで施工できるマンホール接手です。



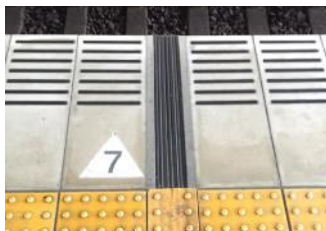
AZPJ(耐震可とう継手)
塩ビ管同士をつなぐ可とう接手です。



シーラータープ(紐状成形シール材)SP
ブチル系合成ゴムと合成ゴムスポンジとの複合シール材



ラップテープ
組立マンホール・ボックスカルバート接合部シール材



エキスパンションシール YFP
駅のプラットホーム・歩道橋等の躯体縁切り部継手

化成品事業

大鳳株式会社



自動車、家電製品、住宅設備、土木などの各産業分野に向けてウレタン素材のパッキンやシール材を加工・販売。

①化成品加工販売事業

パッキン・シール材や吸音材・断熱材・緩衝材などに使われる各種発泡製品やゴム・不織布などの化成品に対して、自社工場と協力工場ネットワークによる加工・調整を加えたカスタム対応品を多数ご提供しています。求められる品質や仕様、現場の条件に合わせた製品づくりを通じて、「本当に使える部材」をお客様のもとへお届けします。



②ウレタン吹付工事業

高い断熱と結露防止性能を持つ硬質ウレタンを、現場にて直接吹付・発泡施工することで、隙間なく断熱層を形成。当社では、信頼できる施工業者とのマッチング・原料選定・施工管理を行っています。



- ・ 戸建住宅(新築・リフォーム)
- ・ 集合住宅/店舗
- ・ 倉庫・作業場・貯蔵タンクなどの産業系建造物
- ・ 天井裏・壁面・床下の部分施工も対応可能

化成品事業

株式会社泉製作所



徹底した品質管理体制による自動車業界向けを中心としたプラスチック製品を射出成形する会社。



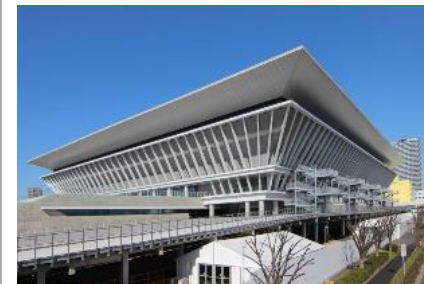
日創エンジニアリング株式会社



内外装パネル工事、太陽光発電設備工事等を中心に、日創プロニティとともに材エー括での提案により大型建設工事が強み。



大型太陽光発電所施工事例



スポーツ施設アルミパネル施工事例



クリーンルーム施工事例



耐火パネル施工事例

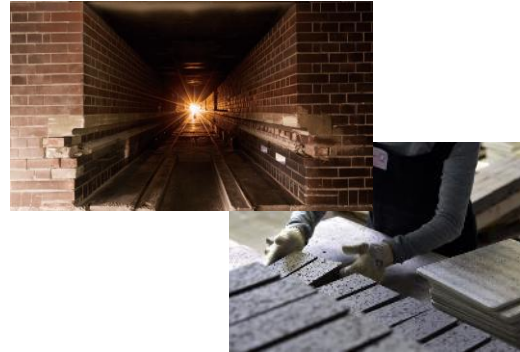
化成品事業

建設事業

ニッタイ工業株式会社



内外装タイルを製造販売。焼物として味わい深い湿式タイルの国内トップメーカーで、特殊品オーダーに強み。



特注レンガ施工事例
(前橋市立桃井小学校)



特注テラコッタルーバー施工事例
(読売新聞社東京本社ビル)

ライフスタイル事業

株式会社マルトク



内外装木材の加工に強み。ミリ単位で木製天板をオーダーカットできるECサイトマルトクショップを運営。



m3 PRODUCT: デザイナーとの共同開発ブランド

m3 PRODUCT

ライフスタイル事業

シキファニチア株式会社

SiKI

チェア、テーブル、ソファ等の家具メーカー。
繊細なデザインを表現する高度なものづくり技術に強み。

新ブランド「AKITSUKI」



選び抜かれた国産材



カイト



フォーマルW



納入事例: 志摩シーサイドカンツリークラブ



納入事例: 鮎ト和食いちり 博多

ライフスタイル事業

(非連結子会社)

カナエテ株式会社

アイデアをカタチに。
Kanaete

ものづくり企業の製品を集め販売するECサイトKanaeteを運営。
住宅設備機器のEC販売、システム受託開発も行う。

①ECプラットフォーム事業

モノづくりの可能性を広げていきたい。
「創りたい人」、「創り手」、「買い手」を繋げる
プラットフォームを目指し運営する自社EC
サービスが『Kanaete(カナエテ)』です。



②住宅設備機器のEC販売事業

「あなたの暮らしに非日常感を。」をコンセプトに、
旅先で感じるような感動と落ち着きを
日常の中に落とし込み日々の暮らしを豊かなものに。
そんな住宅設備機器をEC販売しています。

Crafree



③システム受託開発事業

現場の声に耳を傾け、業務に本当に合った機能だけを、使いやすく、見やすく。ITに詳しくなくても、すぐに使えるシステム・サイトを届けています。



システム開発



EC開発



HP制作

ライフスタイル事業

株式会社穴井工務店



創業から半世紀以上、累計1,500棟を超える実績をもつ、地域に根差した注文住宅工務店。



窓から差し込む光と木のぬくもりを感じる家



癒し薫 無垢の大黒柱と暖炉のある家



テラスで つ・な・が・る



北欧モダンなmono tone house



土間のある生活



個人事業主向けアパート
SOHO長屋 SEED(シード)

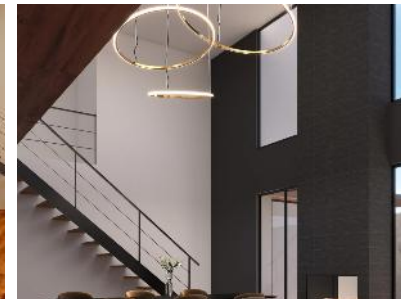
ライフスタイル事業

(非連結子会社)

日創不動産株式会社



住まい探しから売却、資産運用、管理、リノベーションまで。あらゆる不動産ニーズに対応。



不動産仲介



賃貸仲介



不動産買取



不動産管理

ライフスタイル事業

(非連結子会社)

株式会社ベルフラッツ



仕入から開発、販売まで自社ブランドにて展開し、顧客ニーズに柔軟に対応できる強みを持つマンションデベロッパー。

【販売中】



ベルジェンド海老名
(センタープレイス) <完成予想CG>



ベルジェンド海老名
(ミッドマークス) <完成予想CG>

ライフスタイル事業

株式会社ビーズネクサス



マンション開発のノウハウを活かした、「顧客本位のリノベーション」をテーマに新築分譲マンションにはない価値を提案する。



リノベ住宅はもっとスマートになる。

ライフスタイル事業

NISSO DESIGN STUDIO CO., LTD

ベトナム・ハノイを拠点とし、設計支援・製作支援・品質管理・調達支援を行う「グループ技術支援拠点」を目指す。

①設計作図

日創プロニティ

太陽光架台組立図/部品図/詳細図
ソーラーカーポート部品図/詳細図
NSカバー2D/3D作図

マルトク

板材設計作図
家具図面作図

②製作作図

日創プロニティ

別注品製作図/曲げ図/バラ図
展開図/切断指示書

ワタナベテクノス

曲げ図/バラ図/展開図
切断指示書



③製造管理

ワタナベテクノス

排気・排風・給気消音器の品質管理
製作品検査/出荷前品質確認

④調達サポート

ニッタイ工業

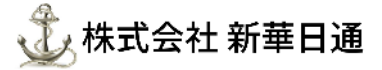
ベトナム企業調査
現地企業との調整/翻訳支援
現地視察同行



海外設計拠点

(非連結子会社)

株式会社新華日通



貿易専門商社として、独自のネットワークを駆使し、グループ全体の輸出入の支援を目指す。

主な調達品



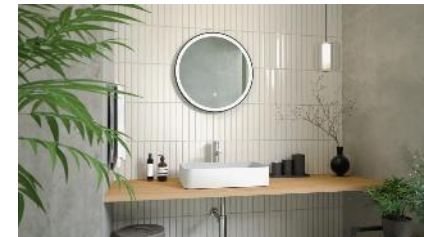
ロックウール保温材



産業用ソーラーカーポート



木質建材・木材



住宅設備関連資材(洗面ボウル等)

貿易専門商社

(非連結子会社)



CONTACT

お問い合わせ

日創グループ株式会社
グループ経営戦略本部 IR・SR部

☎ 092-555-2825

🌐 <https://www.nissogroup.com>

✉ ir@nissogroup.com

■ ディスクレーマー

本資料に記載されている計画、予測又は見通しなど、将来に関する事項等は、当社が現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいております。従って、将来の業績等を約束するものではなく、今後様々な要因により変動する可能性があります。